

白馬岳主稜

アルパインクライミング

2022年05月03日(月), 4日(火)

L: 坂野、宮本、杉山、桐林



頂上へ突き上げる雪壁の前で

【参加者感想】桐林記

『日本のクラシックルート』の一番最初に出てくるアルパインクライミング・ルートだ。緊張感が持続させられる雪稜と、落ちられない雪壁が随所ではなく長く続いた。正直ダメかと思った。アイゼンの前足を信じ切ることが、まだ慣れていない。恐怖感が緊張感へと繋がり、筋肉の無駄な硬直へとなり、疲労感が募った。しかし、最後の雪壁を登り抜け山頂標識を見た瞬間はどうだろう。風が吹きすさむ中に3人の顔を見た瞬間、声が自然と出ていた。連れて来てもらう立場での参加で、感謝しかない。杉山さん最後の確保有難うございました。

帰り際、猿倉山荘駐車場から見た白馬岳は「また来いよ」と言っている気がした。またくるよ、と胸で呟きながら、後にした。